



2026 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 ローム株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 社長執行役員
東 克己
(コード:6963、東証プライム市場)
問合せ先責任者 広報 IR 部 統括課長 後藤 辰英
(TEL.075-311-2121)

特別損失(減損損失)の計上及び業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社グループは、2026 年 3 月期決算において、下記の通り減損損失を計上することとなりました。
また、2026 年 2 月 4 日に公表しました 2026 年 3 月期連結決算業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上について

当社グループが保有する LSI、半導体素子、モジュール、その他などの一部資産について、事業環境の変化を踏まえた収益性や今後の見通しなどを厳格に検討のうえ、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行った結果、主に半導体素子事業(パワーデバイス)、なかでもSiC事業に係る国内外工場の生産設備等を中心に、計 1,936 億円の減損損失を計上いたしました。当社グループはこれまで、バッテリー式電気自動車(BEV)市場の成長鈍化を受け、投資計画の見直しや、次世代デバイス開発及び生産プロセスの 8 インチ化による歩留まり向上等を通じたコスト削減により、SiC事業の黒字化に向けた取組みを継続してまいりました。しかしながら、米国におけるEV優遇措置の縮小や、欧州における 2035 年以降の内燃機関搭載車の販売規制の見直しなどを背景に、BEV市場の中期的な成長率は従来予測を下回る見込みです。これらの状況を踏まえ、固定資産の回収可能性を改めて検討した結果、減損損失を計上することといたしました。

2. 業績予想値と実績値との差異について

(1)2026 年 3 月期連結決算業績予想値と実績値との差

(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	480,000	6,000	11,000	10,000	25.91
実 績 値 (B)	481,148	10,864	19,222	△158,424	△410.46
増 減 額 (B - A)	1,148	4,864	8,222	△168,424	-
増 減 率 (%)	2.3	81.1	74.7	-	-
(参 考) 前 期 実 績 (2025 年 3 月期)	448,466	△40,061	△29,698	△50,065	△129.78

(2)差異の理由

2026 年 3 月期において、売上高は概ね 2026 年 2 月 4 日に発表した業績予想通りの結果となりましたが、営業利益及び経常利益については、原価率の改善および製品ミックスの良化により予想を上回りました。親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失については、前述の減損損失の計上により予想を下回りました。

以 上